

2006 年度

科目名  <p style="text-align: center;">基礎ゼミナール I A</p>	対象学科・学年 人間社 1 回生	担当者  <p style="text-align: center;">井上 徹</p>
授業テーマ 大学生として必要な、読む、書く、考える力をつける。		
授業の概要と目標 情報を探索し、まとめ、発表することは、大学において身に付けなければならない基本的な技能の一つです。本を読み、書かれたものをまとめ、発表し、人に伝える技能の習熟をめざします。		
評価方法 出席状況 + ゼミでの発表 + レポートの内容 (40%) (30%) (30%) ゼミを欠席するなどもってのほかです。		
テキスト ① 詐欺の心理学 ② あぶない脳	著者 富田たかし 澤口俊之	出版社 KKベストセラーズ 筑摩書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容  各自がゼミや課外で行う事柄は次の通りです。 1. 文献を読み、関連する情報を探す。 2. レジюме (発表のための要約) を作る。 3. ゼミの時間に発表する (1 人、10 分間) 4. 質問を受け、それに答える。 (注意) 予定された発表ができない場合は、ゼミを欠席したのと同じ扱いにします。  スケジュール 1. 基礎ゼミ (前期) へのオリエンテーション ゼミの内容紹介、パソコンの使い方、レジюмеの作り方 2. 「詐欺の心理学」についての発表 (1) レジюмеを用いて、1 人 10 分間で発表する。 3. 「詐欺の心理学」についての発表 (2) 々 4. 「詐欺の心理学」についてのまとめ KJ 法を利用して、得られたことをまとめる。 5. 「あぶない脳」についての発表 (1) レジюмеを用いて、1 人 10 分間で発表する。 6. 「あぶない脳」についての発表 (2) 々 7. 「あぶない脳」についてのまとめ KJ 法を利用して、得られたことをまとめる。  テキストについて ①は、心理学から詐欺のテクニックを解説しています。詐欺に遭わないために知っておいたほうが良いでしょう。 ②は、脳科学者が、人の特徴と脳とそこから来る現代社会の危うさを解説しています。  授業は、隔週で行なわれます。		